**ＦＡＸ送信表**

|  |  |
| --- | --- |
| 送信年月日 | 2020年8月27日(木) |
| 宛　　　先 | **分会長　様** |
| 発　信　者 | 静岡教職員組合小笠支部　支部長　　**田浦　伸**http://www.stu.or.jp/shared/img/header_top_logo.png掛川市杉谷７３４－４ＦＡＸ　０５３７－２２－９９７０ＴＥＬ　０５３７－２４－５９１１ |
| 枚　　　数 | **１枚（本票１枚　別紙０枚）** |
| 件　　　名 | **【重要】あしなが育英会への募金　の件** |
| 日頃からの静教組運動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。掲題の件ですが、先日は、連合の７月豪雨募金へのご協力、ありがとうございました。静教組では、全県を挙げて「あしなが育英会」への支援にとりくむ事になりました。小笠支部としては、募金として約８０万円を支部から一括で拠出したいと考えています。この件については、定期大会の際に記載した予算には含まれていない事項ですので、９／１７の拡大支部委員会④で議案として提案しますが、それよりも前に、分会での意見を伺いたいと思いますので、別紙１の提案文書、別紙２の集約用紙、別紙３の新聞資料を回覧していただき、意見集約をお願いします。別紙２については、集約後そのまま支部にFAXして下さい。**９／１１（金）まで**にお願いします以上、よろしくお願いします。別紙１　提案内容**【第１号議案　あしなが育英会への募金に関する件】****小笠支部から「あしなが育英会」に約８０万円の募金を行います。**「あしなが育英会」は、交通事故や病気などで親を亡くした学生らの進学を支える非営利団体で、小笠地区でも高校へ進学の際に利用する学生がいます。例年春に行っている奨学生による募金が、今年は中止になり、個人の寄付と募金で成り立つ給付事業が危機に直面しています。奨学金の要望は増加傾向にあり、今年度は約８千人、交付額は６０億円を予想しており、このままでは奨学金を希望する学生に十分な交付ができないことが懸念されています。（別紙３新聞記事参照）あしなが育英会の支援対象は、親を亡くした子ども達や、後遺症等で親が働けない子ども達です。静教組は教育に責任を持つ団体として、支援の優先順位が最も高い対象であると考え、支援する決定をしました。小笠支部では、支部行事や大会、その他会合等の中止により、７月末時点で昨年と比べ約２００万円ほど支出額が少ない状況にあります。余剰予算については、予算執行のめどが立つ１２月頃に分会交付金として、各分会に戻したいと考えています。（税制上、返金を行うと確定申告が必要となりますので、分会交付金の増額として実施します）小笠支部として、この中から約８０万円をあしなが育英会への募金に拠出したいと考えています。この件は、定期大会での予算説明に無い事項なので、９／１７（木）の拡大支部委員会④での議案審議の前に、組合員のみなさまの意見を伺いたいと思います。別紙の集計表に記入の上、ご意見をよろしくお願いします。【第１号議案　意見集約用紙】第１号議案　あしなが育英会への募金に関する件について

|  |  |
| --- | --- |
| 賛成（自筆で記名して下さい）【例】小笠 まるこ | 反対（自筆で記名して下さい）【例】小笠 まるお |
| 賛成合計　　　　　　　　人 | 反対合計　　　　　　　　人 |
| ご意見 |
| 分会名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　分会 |

分会長は集約後、この用紙を小笠支部にFAXして下さい**（9/11まで）** |

別紙２　集約用紙

|  |
| --- |
| ２０２０年７月２０日　朝日新聞より別紙３　新聞資料 |